

児童相談所を学ぶ 第1回勉強会

講師紹介・主な発信

たかさんとは？

海外経験・里親経験・法律学習から制度の課題を発信

- メーカー勤務約20年。海外営業としてアジア・欧米を担当。
- 特に欧州を10年以上担当し、複雑な歴史・文化背景・法制度への理解を深める。
- 2012年、日本の未来に貢献したいとの思いから、市川児童相談所を通じて養育里親登録。
- その中で、日本の児童相談所・児童養護制度が欧米と比べて大きく異なる構造を持つことに直面し、制度の課題を発信。
- 2023年、市川市議会議員選挙に挑戦。同年、宅建士試験に一発合格。
- 2024年度行政書士試験に一発合格。2025年司法書士試験受験。
- 司法試験のPC受験化を知り、学習方針を切り替え、2026年司法予備試験を受験。
- 現在もメーカー勤務の傍ら、発信・活動・法律学習を継続。



講師として伝えること

児童相談所を「相談窓口」ではなく、強い行政権限を持つ制度として理解すること。市民と市議が議論できる土台を作ります。

この勉強会の位置づけ

選挙運動ではなく、児童相談所制度を学ぶ市民勉強会です。田中甲市長が中核市として設置を目指す児童相談所について、制度の基本を整理します。

主な発信・著作・掲載実績

YouTubeチャンネル

子どもと日本の未来を創るたかさん

市川市から日本を変える！



児童相談所問題、子どもの権利、行政の透明性、統治構造の課題を継続発信。

著書

誤認保護マニュアル



一時保護されたときに頼れる実践的な一冊。

掲載誌

紙の爆弾
2026年2月号・4月号



テレビ・新聞が取り上げない児相問題を掲載。

新刊

日本の統治OS、放置されたバグ



2026年5月24日発売
制度の欠陥と税金の使い道を問う。



たかさんの発信の核

海外経験、里親経験、法律学習、地域活動の経験。

その全てを土台に、日本の制度の課題を市民目線で分かりやすく伝えていきます。

この勉強会で扱うこと

- ✓ 児童相談所は何をする機関なのか
- ✓ 一時保護・親子分離をめぐる制度上の課題
- ✓ 中核市として市川市が児童相談所を持つ意味
- ✓ 市民と市議が議論するための基本知識
- ✓ 県児相と市児相の違い

最新情報・SNS

YouTube



@takasan_ichikawa-city

Facebook



@childrightchiba

X (旧Twitter)



@mentaltakasan

市民の皆さま、市議の皆さま、制度を知る入口としてご覧ください